

令和元年度 第71回北海道高等学校体育連盟室蘭支部バドミントン選手権大会 兼 第71回北海道高等学校バドミントン選手権大会室蘭支部予選会
開 催 要 項

1. 主 催 北海道高等学校体育連盟室蘭支部 室蘭地区バドミントン協会 苫小牧地区バドミントン協会
2. 主 管 北海道高等学校体育連盟室蘭支部バドミントン専門部
3. 当 番 校 北海道登別青嶺高等学校
〒059-0027 北海道登別市青葉町 42-1 Tel 0143-85-8586 Fax 0143-85-8585
4. 期 日 令和元年5月28日(火)～5月30日(木)
5. 日 程 令和元年5月28日(火) 8:00 開場 8:30 監督会議 9:00 開会式(伊達市総合体育館)
9:30 競技開始(団体戦・個人戦複)
29日(水) 9:00 競技開始(団体戦決勝・個人戦複・単)
30日(木) 8:40 団体・個人複表彰
9:00 競技開始(個人戦単) 競技終了後閉会式
6. 会 場 伊達市総合体育館(伊達市松ヶ枝町 34-1 Tel 0142-23-8600)
7. 競 技 種 目 学校対抗団体戦、個人対抗単・複(いずれも男女別)計6種目
8. 競 技 規 則 2019年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程・公認審判員規程による。
9. 参 加 資 格 (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒であること。
(2) 2019年度北海道バドミントン協会(苫小牧地区・室蘭地区バドミントン協会)の登録選手であること。
(3) 年齢は4月2日を起算日として19歳未満とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) 転校後、6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)ただし、一家転住など止むを得ない理由がある場合は、支部長の許可があればこの限りではない。なお、6ヶ月未満の起算日は大会開始日とする。
(5) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在籍校の校長が支障ないと判断した者とする。
(6) 令和元年度北海道高等学校体育連盟主催大会参加者災害補償制度に加入していること。ただし、新入部員は令和元年6月に加入する事で出場可とする。
(7) 参加資格の特例
ア 上記(1)に定める生徒以外で(2)～(5)の大会参加資格を満たした生徒を別途に定める規程に従い大会参加を認める。
イ (3)のただし書きについては、学年の区別をもうけない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
ウ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会出場を認める。

【大会参加資格の別途規程】

- 1 北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高等学校体育大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を満たすこと。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ 参加を希望する学校にあっては、学齢・就業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
ウ 各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められていること。
エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校と比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
ア 支部高校体育大会参加生徒の指導基準及び支部高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目要項及び、申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万が一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
ウ 大会参加料は、エントリー選手1名720円とする。

10. 参加制限 (1) 団体戦：各校男女とも各1チームとする。
(2) 個人戦：各校男女とも3複3単以内とする。
11. 引率責任者及び監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。なお、引率責任者と、監督が同一の場合は教員とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
12. チーム編成 (1) 課程(全日制課程、定時制課程、通信制課程)ごとの生徒によるチームであること。
(2) 団体戦は選手5～7名以内・監督1名・コーチ1名・マネージャー1名の計10名以内で編成し、競技中ベンチ入りできる者も同様とする。ただし、外国人留学生の選手は2名までとし、出場できる試合は、その出場数(1名または2名)にかかわらず1対抗戦につき1試合だけとする。
※監督・コーチ・マネージャー・選手は、北海道バドミントン協会に会員登録を済ませた者とする。(あるいは済ませること)
13. 競技方法 団体戦
(1) 2複3単による学校対抗トーナメント方式とし、試合順序は複1→複2→単1→単2→単3の5マッチ制とし、単1に出場した選手は他のマッチに出場できない。
(2) 初回戦から3マッチ先取で行う。
(3) ゲームの進行状況により、各マッチを同時に行うこともある。
- 個人戦
(1) 個人戦はトーナメント方式とし、試合順序は複→単の順とする。
14. 使用用器具 (公財) 日本バドミントン協会第1種検定合格水鳥シャトル及び検定合格用器具とする。
15. 参加申込 (1) 申込方法 所定の申込用紙に記入するとともに参加料を添えて申し込むこと。
※参加申込み用紙は送付前、当番校事務局宛にEメールに添付して送信すること。
※何らかの事情で郵送が間に合わない場合、当番校事務局宛まで連絡すること。
※参加料が間に合わない場合には、組合せ抽選会の際に持参すること。
(2) 申込先 〒059-0027 登別市青葉町42-1
北海道登別青嶺高等学校 高体連バドミントン室蘭支部大会事務局宛
Tel 0143-85-8586 Fax 0143-85-8585 (t-arihisa@hokkaido-c.ed.jp)
- (3) 申込期日 令和元年5月14日(火)必着
16. 参加料 (1) 選手1名につき500円。(マネージャーは含まない。ただし、別途規程の参加者は720円)
(2) 専門部運営負担金～団体戦に出場する男女それぞれ1チーム1,000円。
※専門部運営負担金については、組合せ抽選会時に支部専門委員に渡して下さい。
17. シャトル負担 団体戦：各校男女1チーム各1ダース半(18個)
個人戦：複1組毎3個、単1名毎3個
18. 宿泊 特に斡旋しない。宿泊をする場合は各校で手配すること。
19. 表彰等 (1) 表彰は、団体戦と個人複については3位までを最終日の競技前に行う。
個人単については、3位までを閉会式に行う。
(2) 全道大会出場資格について令和元年度 函館市(6月11日(火)～14日(金))
団体戦：3位まで 個人戦：5位まで(ただし女子複は4位まで)
全道大会に参加できるチーム及び選手は次のとおりである。

【団体戦】

ブロック	道北					道南				
	空知	旭川	名寄	北見	十勝	釧根	札幌	函館	室蘭	小樽
BT (31+1)	2	3	2	2	3	3	8	3	3	2
GT (30+1)	2	3	1	2	3	3	8	3	3	2

※開催支部から、さらに1チーム出場できる

【個人戦】

ブロック	道北					道南				
	空知	旭川	名寄	北見	十勝	釧根	札幌	函館	室蘭	小樽
BD (42)	3	4	3	4	4	4	8	4	5	3
BS (43)	4	4	3	4	4	4	8	4	5	3
GD (41)	3	4	3	4	4	4	8	4	4	3
GS (42)	3	4	3	4	4	4	8	4	5	3

※個人戦出場単・複4名(組)以上の支部は2校以上、単・複7名(組)以上の支部は3校以上出場すること。

20. 諸会議 組合せ・顧問会議5月21日(火)10:00 北海道登別青嶺高等学校 会議室
監督会議5月28日(火)8:30 伊達市総合体育館 多目的室1・2・3
21. その他 (1) ユニフォームは、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
(2) ユニフォームには、「学校名」もしくは「学校名+ブロック名」を背面表記すること。(縦15cm×横30cm)また、自分の所属校以外の背面表記があるユニフォームの着用は禁ずる。表記については、大会運営規定第24条と高体連規定に従うこと。
(3) 学校対抗、個人対抗ともに敗者審判制で行う。主審、線審の練習は各チームで行うこと。
(4) プログラム配布数は、参加人数分とする。
(5) 学校対抗団体戦の監督・コーチ・マネージャー・選手の登録変更は監督会議受付時までとし、組合せ会議では行わない。なお、選手・監督・コーチ・マネージャーの追加登録は認めない。また個人戦については、申込締切以降の出場選手変更は認めない。